

取扱説明書

WEST Connected lock

E06



問い合わせ先（RemoteLOCKクラウドに関する内容）

RemoteLOCK Help Center
<https://remotelocksupport.kke.co.jp/hc/ja>











問い合わせ先（取付、ハードウェアに関する内容）

株式会社ウエスト
TEL 072-826-0323 ※9:00～17:00のみ（土日祝日、夏季休業、年末年始等は除く）
<https://west-lock.co.jp/>





安全にお使いいただくために



ご使用前に、本書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。ここに記した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お使いになる方や、他の人への危害や財産への損害を未然に防ぐための内容を記述していますので、必ずお守りください。

表示説明













	危険	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある内容。
	警告	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容、および、家屋・家財などの損害に結び付く内容。
	注意	誤った取り扱いをした場合、軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容。
	禁止	
	分解禁止	
	水ぬれ防止	
	水ぬれ禁止	
	指示	

危険

-  異常に温度が高くなる所で使用したり置いたりしない。火災、やけど、けがの原因となります。
-  火の中に入れてない。火災、やけどの原因となります。
-  落としたり、投げたり、踏みつけたりしない。発火、発熱、破裂、火災、けが、感電の原因となります。
-  分解、改造をしない。火災、やけど、けが、感電の原因となります。

-  電源は指定された乾電池以外は使用しない。火災、やけど、けが、感電の原因となります。
-  故意に液体の中に入れてたり、液体をかけたり、濡らしたりしない。火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

-  接続端子に導電性異物を接触させたり、内部に入れない。火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。
-  使用中や電池を入れた状態で布などをかぶせたり、包んだりしない。火災、やけどの原因となります。
-  電源との接続ケーブルが痛んだら、使用しない。火災、やけど、感電の原因となります。
-  本体は風呂場や台所などの湿気の多い場所では使用しない。火災、やけど、感電の原因となります。
-  雷が鳴ったら電源との接続ケーブルに触れない。火災、やけど、感電の原因となります。
-  端子に触れない。火災、やけど、感電の原因となります。
-  電源との接続ケーブルをねじったり、たばねたり、加工しない。火災、やけど、感電の原因となります。
-  濡れた手で電源アダプターや端子に触れない。火災、やけど、感電の原因となります。
-  指定の電源、電圧で使用する。誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。詳細は取扱説明書の製品仕様をご覧ください。
-  使用中、保管時に煙、異臭、発熱、変形などの異常が発生した場合は直ぐに使用を中止する。火災、やけど、けが、感電の原因となります。
-  携帯電話・時計・電子機器、金属物体、クレジットカード、ハードディスクベースメーカー等、電波の影響を受ける可能性のある物体を製品の近くに置かない。データの損失や商品の故障につながるおそれがあります。
-  本製品使用に適さない年齢のお子様やペットなどの動物の手の届かないところで、使用、保管する。破損など不測の事態の原因となります。

警告

❗ 医療電気機器などを装着している場合は、電波による影響について医師に確認の上使用する。やけど、感電の原因となります。

🚫 お手入れの際、ベンジン・シンナーなどの化学薬品は使用しない。変色、変質の原因となります。

注意

🚫 取り付け時はしっかりと取り付ける。落下して故障、けがの原因となります。

🚫 落下による変形、キズ、故障した状態で使用しない。電池の液漏れ、発火、破裂、火災、やけど、感電の原因となります。

製品仕様

本体色	ブラック、コーラルレッド
外形寸法(mm)	アウターユニット W86 × H110 × D30 インナーユニット W53 × H180 × D51
質量(g)	アウターユニット 230g インナーユニット 460g(取付金具、電池など含む)
添付品	導入ガイド、施工説明書、錠対応アダプタ、取付ネジ、テスト用アルカリ電池

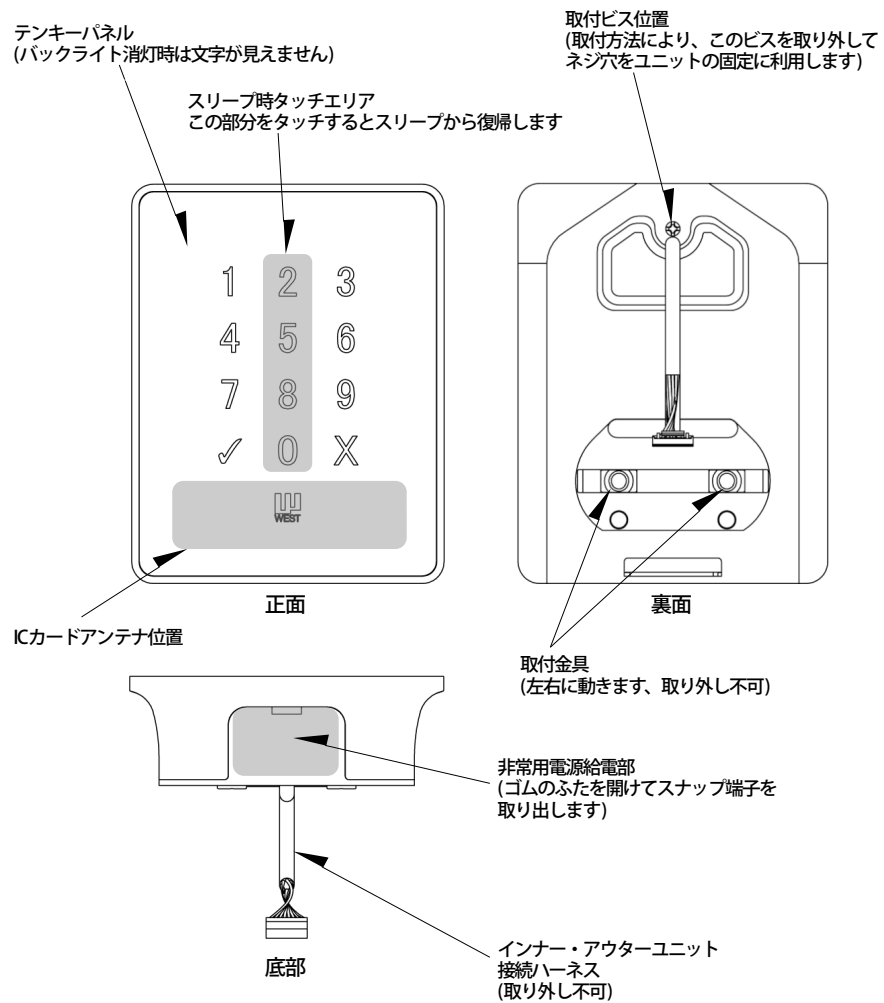
製品仕様

推奨標準錠	WEST : CA3 / CA6 / DA3
対応錠前	WEST : CA2 / CA5 / DA2 / D06 MIWA : LA / DA / LSP / FG(オプション対応) GOAL : LX / HD / TX
対応扉厚	30~50mm 標準推奨錠は36~50mm
対応バックセット	外開き 38~64mm 内開き 51-64mm
使用電源	単3アルカリ電池またはリチウム電池(1.5V) 4本
外部電源※	DC6V (専用オプションにて)
非常用電源	9V角型アルカリ電池(6LR61もしくは6LF22)
使用温度範囲	-20℃~+55℃
自動施錠機能	有り(センサーロック、地磁気センサー利用)
防水性	外部ユニットのみIP54相当
WiFi	IEEE 802.11b/g/n準拠 2.4GHz 暗号化 (WEP,WPA/WPA2[PSK/TKIP]) 受信モジュール位置 インナーユニット内部
対応ICカード規格	FeliCa / FeliCa Lite-S
ICカード登録数	最大10枚
外部入力※	施解錠接点入力(無電圧a接点)
外部出力※	施解、解錠接点出力(オープンドレイン)
2ロック※	対応可能(別途内部スレーブユニット必要)

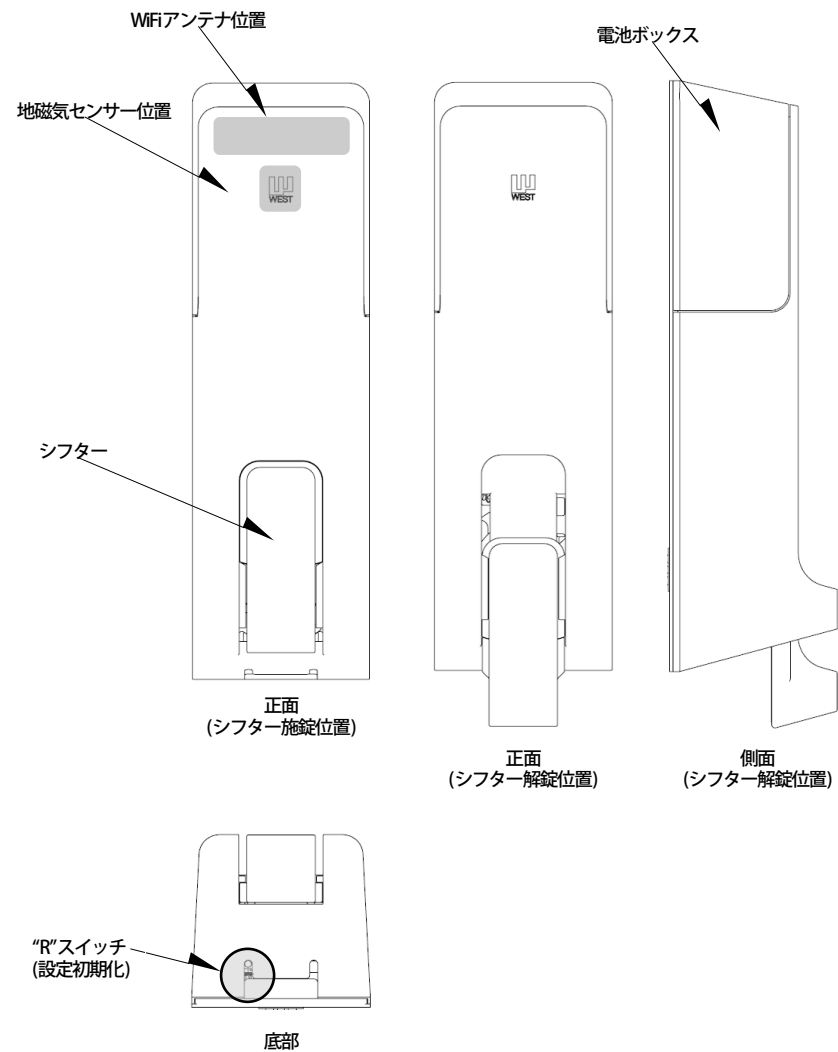
※ 機能利用の際は別途専用オプション、専用ハーネスが必要となります。

各部説明

アウターユニット



インナーユニット

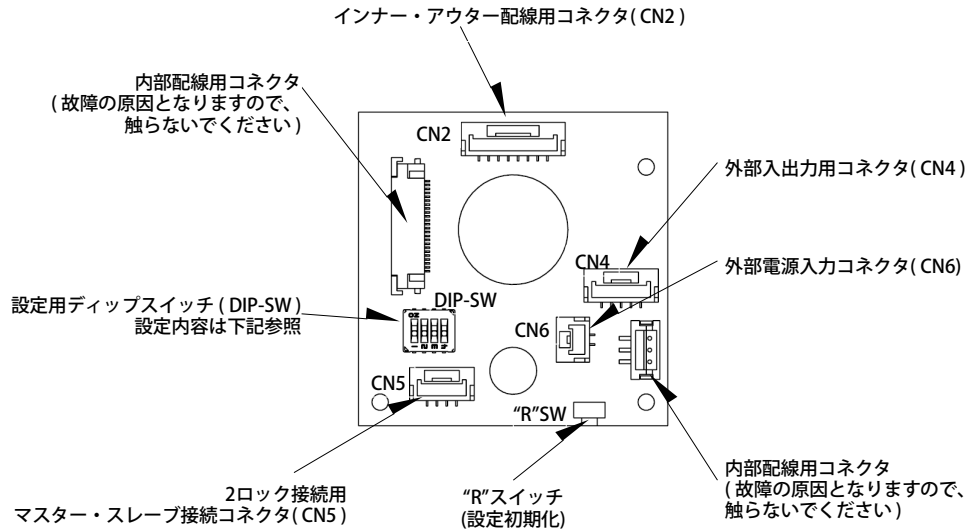


各部説明

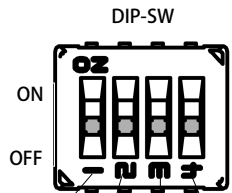
インナーユニット コネクタ配置

《注意事項》

- ・故障の原因となりますので、定められたハーネス以外は接続しないでください。
- ・外部入出力治具、外部電源入力は結線を誤ると故障の原因となります。
- ・コネクタの抜き差しは電源を切った状態で行ってください。(故障の原因、感電など事故防止)
- ・ディップスイッチは電源を切った状態で切り替えてください。(故障、設定不良の原因)



設定用ディップスイッチ 設定内容



SW1 SW2 SW3 SW4
白い突起のある方がSWです。
この絵ではすべてONです。

	ON	OFF
SW1 (勝手設定)	モードA*	モードB
SW2 (接点入力動作)	強制解錠	施解錠交互*
SW3 (2ロック機能)	有効	無効*
SW4 (2ロック時選択)	マスター(1台目)	スレーブ(2台目)*

注) * 初期設定

接点入力動作 強制解錠 … 接点入力があると強制的に解錠します。解錠時は動作しません。
施解錠交互 … 接点入力ごとに施錠と解錠が入れ替わる動作をします。
※安全上、接点入力による施錠(解錠)動作開始から動作完了後3秒以内は次の接点入力を受け付けません。

電池ボックス

電池ボックスの脱着、電池交換は下記の手順で行ってください。

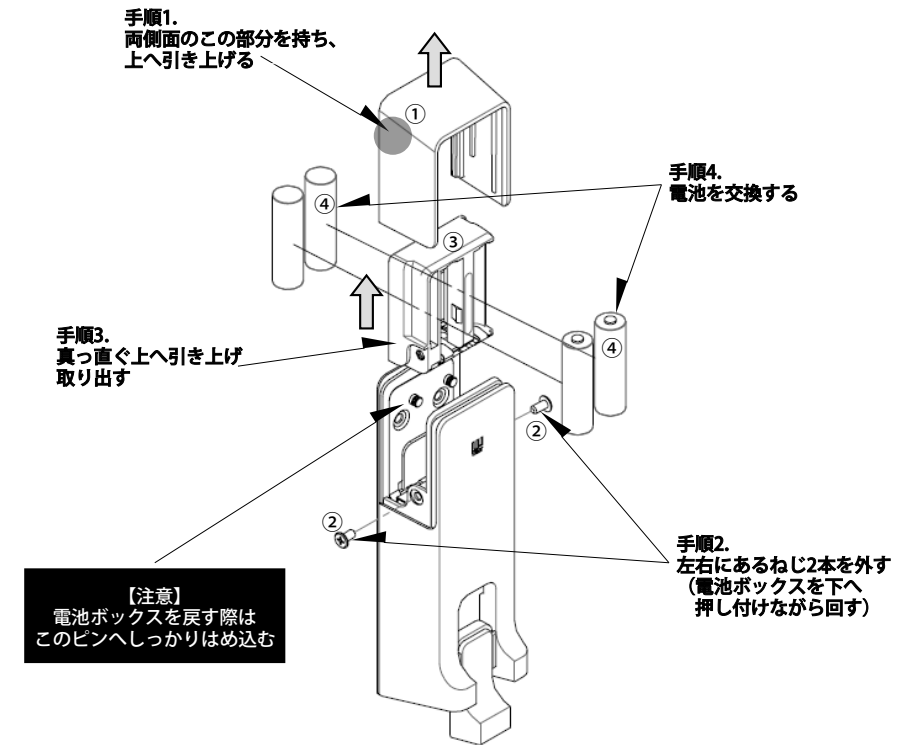
- 手順1. ①電池ふたを外す
- 手順2. ドライバーを使い、左右にある②ねじ2本を外す
- 手順3. ③電池ボックスを真っ直ぐ上へ引き上げて外す
- 手順4. ④電池を交換する

戻す場合は逆の手順ですが、背面の取り付けプレートにあるピン2本に電池ボックスをしっかりとめ込むようお願いします。

※電池ボックス固定ねじが固い場合は電池ボックスを下へしっかりと押さえてください。

《注意事項》

- ・故障の原因となりますので、定められた電池以外は利用しないでください。
(利用可能電池：単3アルカリ電池、単3リチウム電池【充電電池ではありません】)
- ・充電電池(ニッカド電池、ニッケル水素電池など)は利用不可です。
- ・リチウム電池利用の際は、クラウド設定にて電池種別を「リチウム」に変更してください。
(アルカリのままですと、残量表示が正しく行えません)



【注意】

オートロック利用時、電池交換後はキャリブレーションを行わないと正常にドア開閉検出がされないため、オートロックできません。
また、電池交換をしなくても、電池ボックス脱着後はドア開閉検出が正常に機能しているかの確認を行ってください。(16ページ参照)

非常用電池の利用

テンキーのスリープ時タッチエリアにタッチしても表示が出ない場合、テンキー操作はできるがモーター駆動(施錠、解錠動作)になるとリセットが掛かってしまう場合は電池切れです。

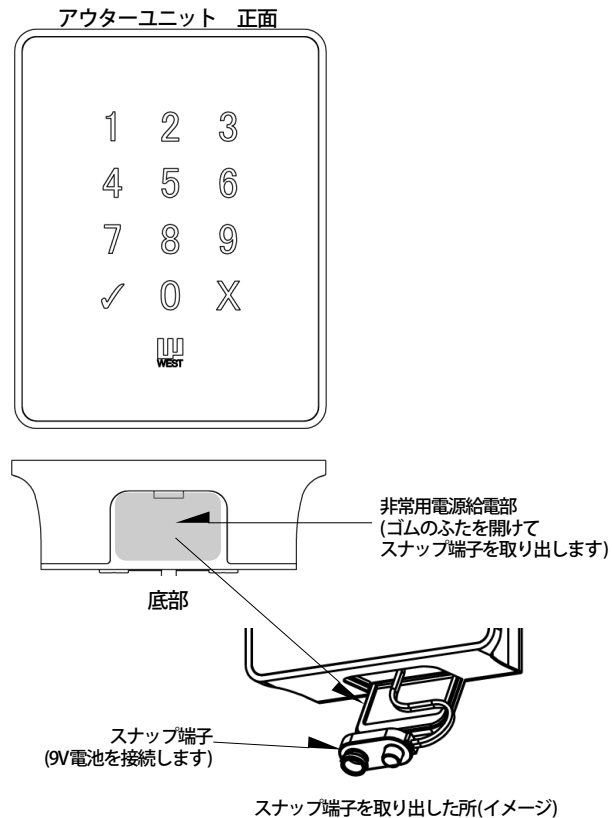
施錠状態のまま電池切れ状態となり、インナーユニットへアクセスする方法がない場合、アウターユニット下部の非常用電源端子より電源供給することにより、一時的にロックを動作させることが可能です。(シリンダーがある場合は鍵での解錠をお願いします)

《ご注意》

9V角型電池は電池容量が非常に少ないため、施錠・解錠操作を何度も繰り返すとすぐに電池切れになります。そのため、非常用電源の電池は下記の注意をお守りください。

- ・かならず新品のアルカリ電池(使用期限内)を使用する。一度利用した電池は再利用しない。
- ・マンガン電池は使用しない。(電池の能力不足のため、施錠・解錠操作ができません)
- ・なるべく6LR61を利用する。(推奨：パナソニック製、FDK[富士通]製)

非常用電源供給部のふたは固く作られております、作業時にけがをしないよう十分にご注意ください。スナップ端子のリード線は、無理に引っばったりすると切断する恐れがありますので、ご注意ください。



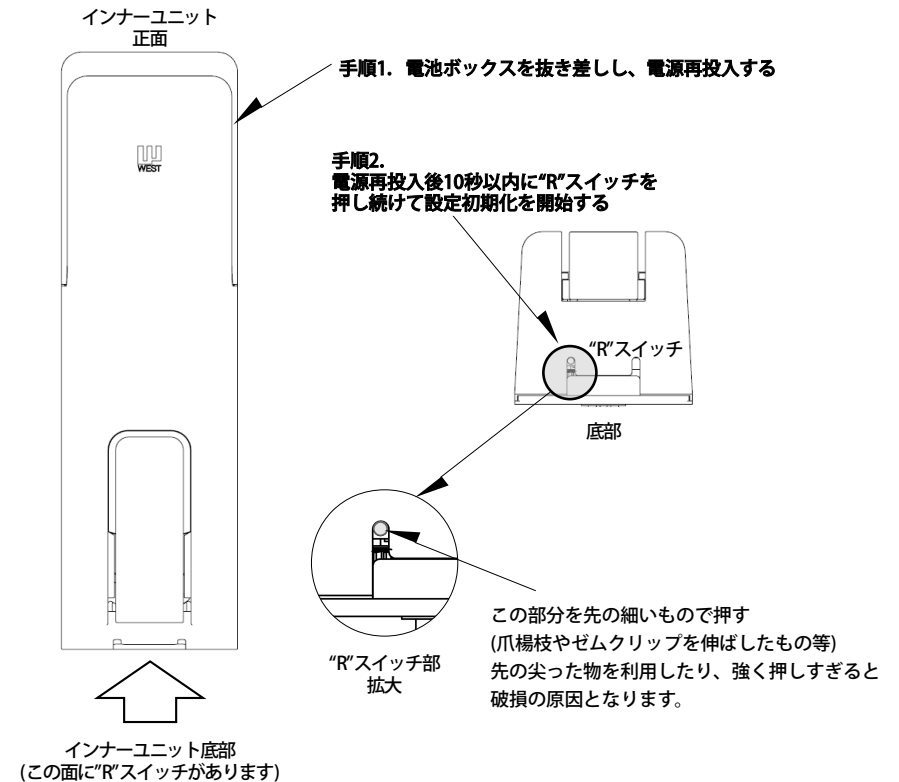
設定の初期化(工場出荷状態へ戻す)

何らかの原因でロックの初期化が必要となった場合は、下記の手順で設定の初期化を行います。ただし、下記設定はこの方法では消去できません。

- ・WiFi接続設定 (プログラミングコード→312 で消去 P.14参照)
- ・ICカード設定 (プログラミングコード→131 で消去 P.13参照)
- ・セキュリティ機能 (初期化前と同じです、必要に応じて再設定を行ってください。P.15参照)
- ・テンキーバックライト輝度 (初期化前と同じです、必要に応じて再設定を行ってください P.15参照)

なお、WiFi接続ができており、インターネット接続まで正常な場合は、初期化後しばらくすると自動的にクラウドにある設定に戻ります。(セツドアハンディン、プログラミングコードなど)譲渡や利用停止の際は、先にWiFi接続設定を削除した後に初期化操作を行ってください。

手順1 電池ボックスを外し(電源を切断)、再度セットし、電源投入する(リセット処理)
 手順2 電源再投入後、10秒以内にインナーユニット下部の“R”スイッチを押し続ける(押した直後に「ピー」、しばらくして「ビッ、ピーピー」と鳴れば初期化開始です。初期化完了まで1分程度待ってから、再設定などの操作をお願いします。)



機能・特徴

電源

単3電池4本(アルカリまたはリチウム電池)、
非常用電源(9V角型アルカリ電池：6LR61もしくは6LF22) ※ P.9参照
外部電源(電池と排他利用：DC6V電源アダプター、オプション品) ※ P.7参照

✓キーと×キー

テンキー下部にあります「✓」(チェックキー)と「×」(ばつ)キーは同一の機能です。以降の説明は「✓」のみの記載とさせていただきます。

スリープ解除

スリープ中はテンキーに何も表示されません。
テンキー中央部(2,5,8,0キー部分)をタッチするとスリープ解除されます。P.5参照
セキュリティモード利用時はランダムに点灯された4つのキーから3つのキーをタッチする必要があります。

プログラミングコード

初期プログラミングコードは「123456」です。**セキュリティ確保のため、新しいプログラミングコードに必ず変更してください。**プログラミングコードの長さは4桁から10桁で設定できます。

ローカルPIN

プログラミングコードを利用して設定する解錠コードのことです。
最大10個まで登録でき、初期コードは「1234」です。
ローカルPINの長さは4桁から10桁で設定出来ます。

オートロックモード

ロック解錠後、自動的に施錠するモードのこと。
工場出荷状態ではこのモードで、扉閉を検出後、5秒後に施錠するように設定されています。利用前にキャリブレーション操作が必要です。※P.16参照
秒数はRemoteLOCKクラウド上で変更可能です。

オートロックモード一時無効

シフターでロック解錠後、扉の開閉を行わない場合、自動施錠されずに解錠状態が継続されます。施錠する場合は扉を開閉するか、施錠する必要があります。

通知

ビーブ音回数

- 1回(ピッ)：ボタン操作が成功したことを示します
- 2回(ピーピー)：プログラミングコード操作が成功したことを示します
- 3回(ピーピーピー)：動作やプログラミングコード操作が失敗したことを示しています

点灯通知(✓と×キーでお知らせします)

- 緑1回点滅：ボタン操作が成功したことを示しています
- 緑2回点滅：プログラミングコード操作が成功したことを示しています
- 赤5回点滅：プログラミングコード操作が正常完了したことを示しています
- 赤3回点滅：動作やプログラミングコード操作が失敗したことを示しています
- オレンジ点滅：プログラミングコード手順の最中であることを示しています

ロックの解錠

ユーザーPIN入力、ローカルPIN入力、ICカード、室内側シフター操作のいずれかで解錠できます。

ユーザーPINおよびローカルPINの入力は「PINコード+✓」で可能です。

例：1234 → ✓

ロックの施錠

✓キーをタッチ、もしくは室内側シフター操作で解錠できます。

セットドアハンディंग

デッドボルトの施錠状態、解錠状態を正しく設定するための手順。
取付施工後、導入ガイドまたは次ページを参照し、はじめに必ず行ってください。 ※P.13参照

工場出荷状態に戻す

電池ボックスを脱着し、再起動させます。電源の再投入後10秒以内に室内ユニット下部にある「R」スイッチを押し続けると、工場出荷状態へ戻すことができます。(WiFi設定は削除されません) ※P.10参照

プログラミング機能 1

このページの「PC入力」は「プログラミングコード入力」を指しています。

⚠ 注意

セットドアハンディング

まずはじめにデッドボルトが「解錠」状態（引っ込んでいる状態）になっていることを確認してください。本商品は初期セットアップ時または工場出荷状態リセット後にこの手順を行わないと利用できません

PC入力 → ✓ → 140 → ✓

※例：123456 → ✓ → 140 → ✓

プログラミングコード [100]

PC(変更前)入力 → ✓ → 100 → ✓ → PC(変更後)入力 → ✓
(✓と×の赤5回点滅、ビープ音2回で成功です)

ローカルPIN追加(最大10個まで) [110]

PC入力 → ✓ → 110 → ✓ → 新しいローカルPIN入力 → ✓
(✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です)

※10個目のローカルPINを追加時は、✓と×が5回点滅します

※ICカード登録枚数と合わせて10個(枚)です。

ローカルPIN削除 [120]

PC入力 → ✓ → 120 → ✓ → 削除するローカルPIN入力 → ✓
(✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です)

ローカルPIN全削除、初期ローカルPIN登録 [131]

PC入力 → ✓ → 131 → ✓

(✓と×の赤5回点滅、ビープ音2回で成功です)

※初期ローカルPIN "1234" は他のローカルPINもしくはICカード追加で自動的に削除されます。

WiFi設定のリセット [312]

PC入力 → ✓ → 312 → ✓

(✓と×の赤5回点滅、ビープ音2回で成功です)

WiFi接続設定モード [320]

PC入力 → ✓ → 320 → ✓

(✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です)

WiFi再接続 [411]

PC入力 → ✓ → 411 → ✓

(✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です)

オートロックモード 設定 [271]

PC入力 → ✓ → 271 → ✓

(✓と×の赤5回点滅、ビープ音2回で成功です)

※続けてオートロックまでの時間設定を行ってください。

オートロックまでの時間設定(設定範囲：5秒～20秒) [260]

PC入力 → ✓ → 260 → ✓ → 設定秒数 → ✓

(✓と×の赤5回点滅、ビープ音2回で成功です)

オートロックモード 解除 [270]

PC入力 → ✓ → 270 → ✓

(✓と×の赤5回点滅、ビープ音2回で成功です)

ミュート(無音モード) 設定 [160]

PC入力 → ✓ → 160 → ✓

(✓と×の赤5回点滅で成功です)

ミュート(無音モード) 解除 [161]

PC入力 → ✓ → 161 → ✓


(✓と×の赤5回点滅、ビープ音2回で成功です)

プログラミング機能 2

ICカード登録 [900]

PC入力 → ✓ → 900 → ✓ → 登録するカードをかざす
(✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です)

※処理に2～3秒かかります

※カードリーダーはウエストロゴ()付近にあります。P.5参照

※登録数はローカルPINと共有されますので、ご注意ください。

(例：ローカルPINに2件登録した場合、カード登録可能枚数は8枚)

ICカード削除 [901]

PC入力 → ✓ → 901 → ✓ → 削除するカードをかざす
(✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です)

※処理に2～3秒かかります

※カード紛失時は全てのローカルPIN削除(131)を行い、残ったカードや必要なローカルPINを再登録してください。

セキュリティ機能 設定 [910]

PC入力 → ✓ → 910 → ✓

(✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です)

※セキュリティ機能有効時は、スリープ解除時に4つのキーがランダムに点灯しますので、その内の3つをタッチすると、通常のキーへ戻ります。

セキュリティ機能 解除 [911]

PC入力 → ✓ → 911 → ✓ ※出荷時設定値

(✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です)

テンキーバックライト 輝度設定 [951] [952] [953]

輝度低 PC → ✓ → 951 → ✓ ※出荷時設定値

輝度中 PC → ✓ → 952 → ✓

輝度高 PC → ✓ → 953 → ✓

(✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です)

※輝度を上げると電池寿命が短くなります。

キャリブレーション(オートロックモード利用時) [931]

オートロックに使用する、ドア開閉検出のためのドア開閉センサーを校正します。(キャリブレーションの詳細はP.XX参照)

オートロックモード利用開始時は必ず最初にこの操作を実施してください。
電池交換後も再度キャリブレーションが必要です。

PC入力 → ✓ → 931 → ✓ → キャリブレーションモード開始
開始時は✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です。

【キャリブレーション中は✓と×がオレンジ点滅を続けます】

手順1. ドアを閉め、✓をタッチ → ビープ音1回、テンキー8と0が消灯

手順2. ドアを開け、✓をタッチ → ビープ音3回、テンキー8と0が点灯

(この時、1回目はテンキーの5が消灯します)

手順1と2を5回繰り返しますが、順番にテンキーの数字が消灯します。

(5→4→3→2→1と消えていく)

最後に長いビープ音1回の後、**ドア開閉検出モード**に入ると成功です。

何度かドアを開閉し、正常に開閉を検出できるか確認します。

《ポイント》

ドアの開、閉後はすぐにキーをタッチせず、3秒程度待ってからタッチ

ドアの開度は30度程度で構いません(開度にバラつきが無いこと)

※途中で中止する場合、×を3回連続タッチします。

ドア開閉検出確認モード [941]

オートロックが正常に動作しない場合、ドア開閉検出が正常に行われているかをこのモードで確認してください。

PC入力 → ✓ → 941 → ✓

開始時は✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です。

ドア開 ✓と×が交互にオレンジ点灯

ドア閉 ✓と×が交互に緑点灯 (開から閉の変化は3,4秒程度掛かります)

異常時 ✓と×が交互に赤点灯 (再度キャリブレーション操作が必要です)

何度かドアを開閉し、正常に検出されている事を確認後、✓で確認モードを終了します。

プログラミング機能3

設定の初期化 [135]

PC → ✓ → 135 → ✓ → 初期化開始 ビープ音2回、✓と×の緑2回点滅
→ 赤点滅10回 → 20秒後 → ✓と×の赤5回点滅 → 20秒後
→ ✓と×の赤5回点滅 → 初期化完了

なお、WiFi接続ができており、インターネット接続まで正常な場合は、初期化後しばらくしますと自動的にクラウドにある設定に戻ります。
(セットドアハンディングは再度設定が必要)

※初期化を行っても、下記設定は消去（初期化）されません。

- WiFi接続設定 → 別途WiFi設定のリセット(PC→312)を行ってください。
- セキュリティ機能、テンキーバックライト

<<譲渡や利用停止の際は、下記手順で初期化を行ってください。>>

- 手順1. WiFi接続設定 (プログラミングコード → 312)
- 手順2. ICカード設定 (プログラミングコード → 131)
- 手順3. 設定初期化 (プログラミングコード → 135)

※セキュリティ機能、テンキーバックライト輝度は必要に応じて個別に初期値へ戻してください。

キャリブレーション

キャリブレーションとは

E06にはドア開閉検出のためのセンサーとして、地磁気センサーを利用しております。

こちらは従来のリードスイッチによる開閉検出とは異なり、センサー部分が表へ出ないというメリットがありますが、高感度の磁気センサーである地磁気センサーを利用する都合上、キャリブレーションというセンサーの校正作業が都度必要になります。

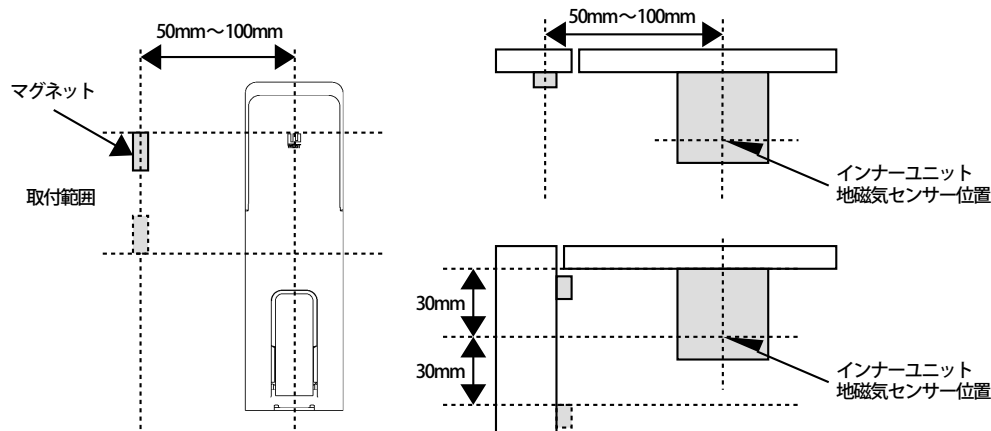
キャリブレーションが必要な場合

オートロック機能を利用する際には、ドア開閉検出が必要なために必要です。また、下記の場合はその都度キャリブレーションが必要です。

- ・設置直後
- ・電池交換後
- ・電池ボックスを着脱した時(電池交換しない場合でも)
※ドア開閉確認モードにて正常に開閉検出されている場合は不要
- ・マグネット位置が変わった(ずれた)
- ・本機を脱着した
- ・環境の変化により、扉開閉検出がされなくなった場合

マグネットの取り付け位置 (推奨位置)

下図を参考にしてマグネットを取り付けてください。



キャリブレーション操作

PC入力 → ✓ → 931 → ✓ → キャリブレーションモード開始
開始時は✓と×の緑2回点滅、ビープ音2回で成功です。

【キャリブレーション中は✓と×がオレンジ点滅を続けます】

手順1. ドアを閉め、✓をタッチ → ビープ音1回、テンキー8と0が消灯

手順2. ドアを開け、✓をタッチ → ビープ音3回、テンキー8と0が点灯

(この時、1回目はテンキーの5が消灯します)

手順1と2を5回繰り返しますが、順番にテンキーの数字が消灯します。

(5→4→3→2→1と消えていく)

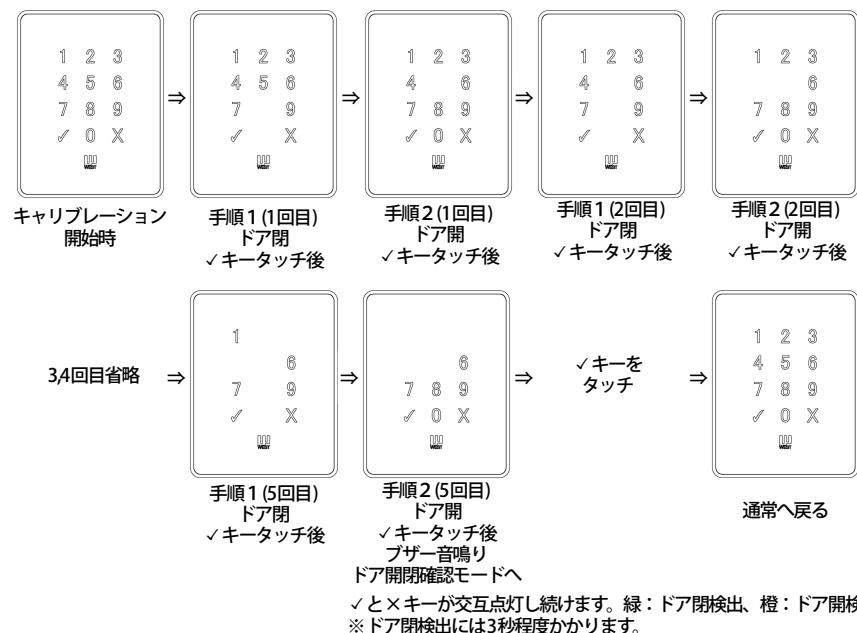
最後に長いビープ音1回の後、**ドア開閉確認モード**に入ると成功です。

何度かドアを開閉し、正常に開閉を検出できるか確認します。

《ポイント》

ドアの開、閉後はすぐにキーをタッチせず、3秒程度待ってからタッチ
ドアの開度は30度程度で構いません(開度にバラつきが無いこと)

※途中で中止する場合、×を3回連続タッチします。



キャリブレーション

キャリブレーションができない場合

キャリブレーションができない(最後まで進めない)場合、下記の内容を確認してください。

○マグネットの位置

マグネットとインナーユニットが近すぎる

インナーユニットのウエストロゴを中心として、50mm以内にならないようにしてください。

○環境の問題

戸枠が鋼製(磁石がくっつく素材)の場合でマグネットが近い環境の場合は、マグネットを離すか、離せない場合はマグネット無しで試してください。

○電池の帯磁

電池取付前に何らかの原因で電池が強い磁気を帯びる場合があります。その場合は一度電池を外して電池ボックスに取り付ける際に場所を入れ替えてみるか、新しい電池を使用してください。

また、電池ボックスとマグネットが扉開閉時に接近する環境の場合、扉を開閉することにより、電池が磁気を帯びる場合があります。その場合はマグネットを離すか、電池ボックスより下へ設置してください。

○電池の消耗

電池が消耗しているとキャリブレーションに失敗する場合があります。その場合は新しい電池に交換してください。